

発足にあたって

研究調査部長 清原 岑 夫

金沢大学では、1996年4月から、教養教育を円滑に実施していくための体制として「教養教育機構」が発足し、教養教育は「全学出動方式」つまり、教養的科目は全学の先生方全員がそれぞれの専門を生かして責任を持って担当するという方式によって行われることになりました。

この新しい教養教育の実施体制は、本学にとっては初めての経験であり、本学全体で協力してより良く機能するように育てて行くことが必要であります。教養教育は、実施体制が変わりましても依然として多くの問題を抱えており、これらの問題について研究調査を行い、教養教育の改善策をいろいろ模索して行かなければなりません。このような考えから、教養教育機構に、次のような役割を担った「研究調査部」という大変ユニークな組織が設置されました。

- (1) 教養教育における教育理念・教育システム・教授法・科目開発及び施設設備等の研究調査を行う。
- (2) 教養教育に関する講演会・研究会等を開催する。
- (3) 教養的科目を点検・評価して、改善の提言を行い、また、教養教育の点検評価報告書を作成する。

研究調査部では、96年秋に、教養教育に係わるアンケート調査を行うこと、96年度中に、研究、調査、事業等をまとめた報告書を刊行すること、97年9月を目処に、教養教育の点検評価報告書及び教養カリキュラムの見直し案を教養教育運営委員会に提出すること、これらのことを本年から来年度にかけての基本目標にしております。このような重大な仕事は、先生方はじめ、職員の方々、学生諸子のご協力を頂かなければ、到底成し遂げることが出来ません。お力添えのほどお願いいたします。

また、研究調査部では、先生方、職員の方々、学生諸子と教養教育について忌憚なく語り合える交流の場として、研究調査部のニュースを発行して行くことにしました。さらに、教養教育に関する文献資料の収集や、いろいろな型の研究会活動に力を入れて行きたいと思っています。

研究調査部は、このような諸活動を通して、地道に粘り強く研究調査を積み重ねて行き、課せられた仕事に対して責めを塞ぎたいと思っています。ご支援とご鞭撻を心からお願い申し上げます。

(「教養教育機構研究調査部ニュース」創刊号より、加筆訂正の上、転載)